

おしりがきれい



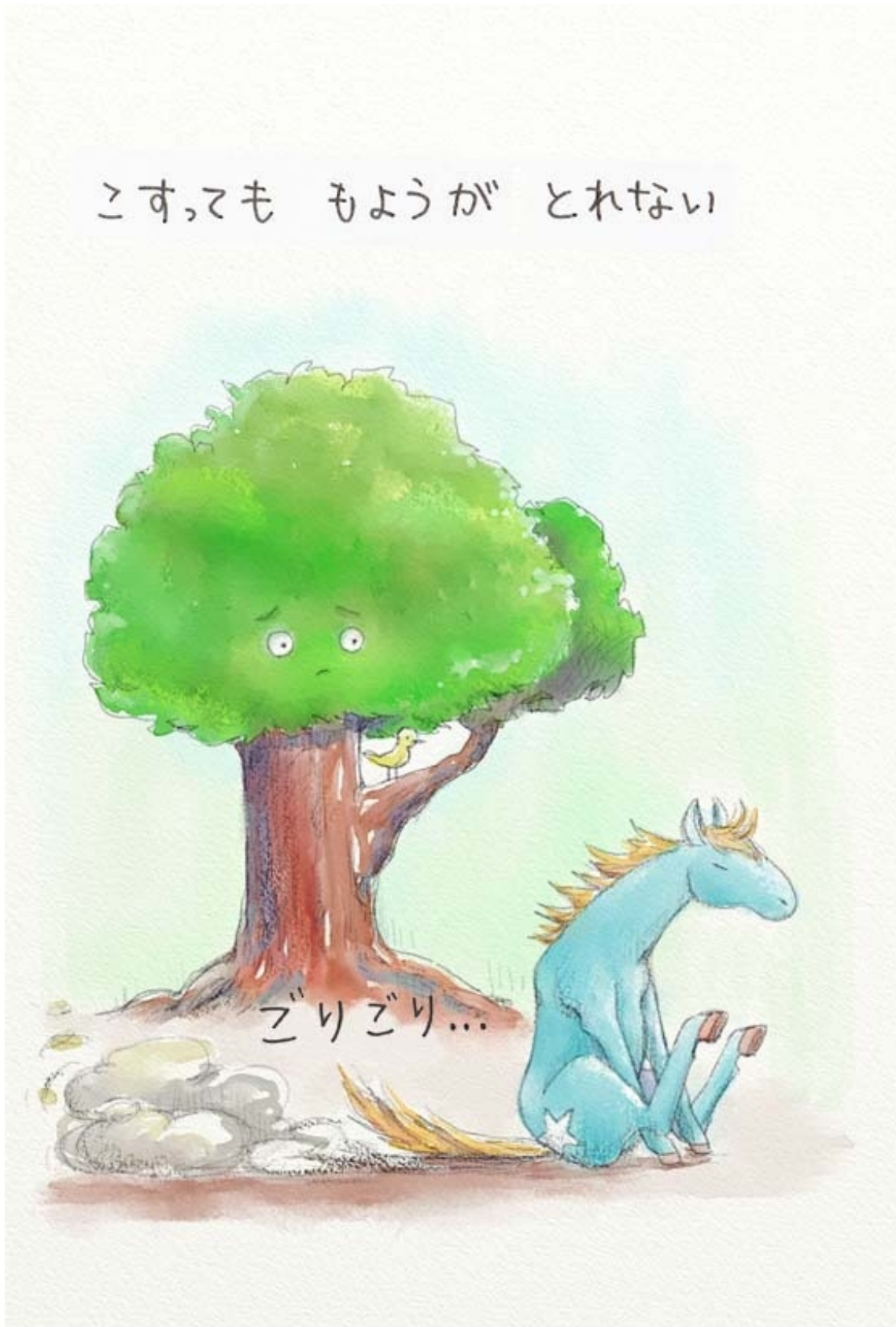
お尻があっても
ぼくはぼくなのさ。

ぼくは

ぼくのおしりが きれいだ



こすっても もようが とれない



ぜんぜん

まったく とどかない



やだやだやだ

いやだ



いやだたらいやだ



だれか
とってよ!







おりのもようは 空へ飛んでいて
きらきら 夜に輝く お星さまになった。

ずっとふたりでながめた



ぼくは すこし 自分の
おしりが好きになった。



君と一緒に、僕が欠点だと思ってることも、
僕は僕のままがいいんだって思えたよ。